

第2章 岡山の将来像（長期構想）

● 2030年頃の目指すべき岡山の姿

「岡山県人口ビジョン」の将来展望を見据えながら、概ね10年後である2030年頃の目指すべき岡山の姿を示します。

すべての県民が明るい笑顔で暮らす岡山

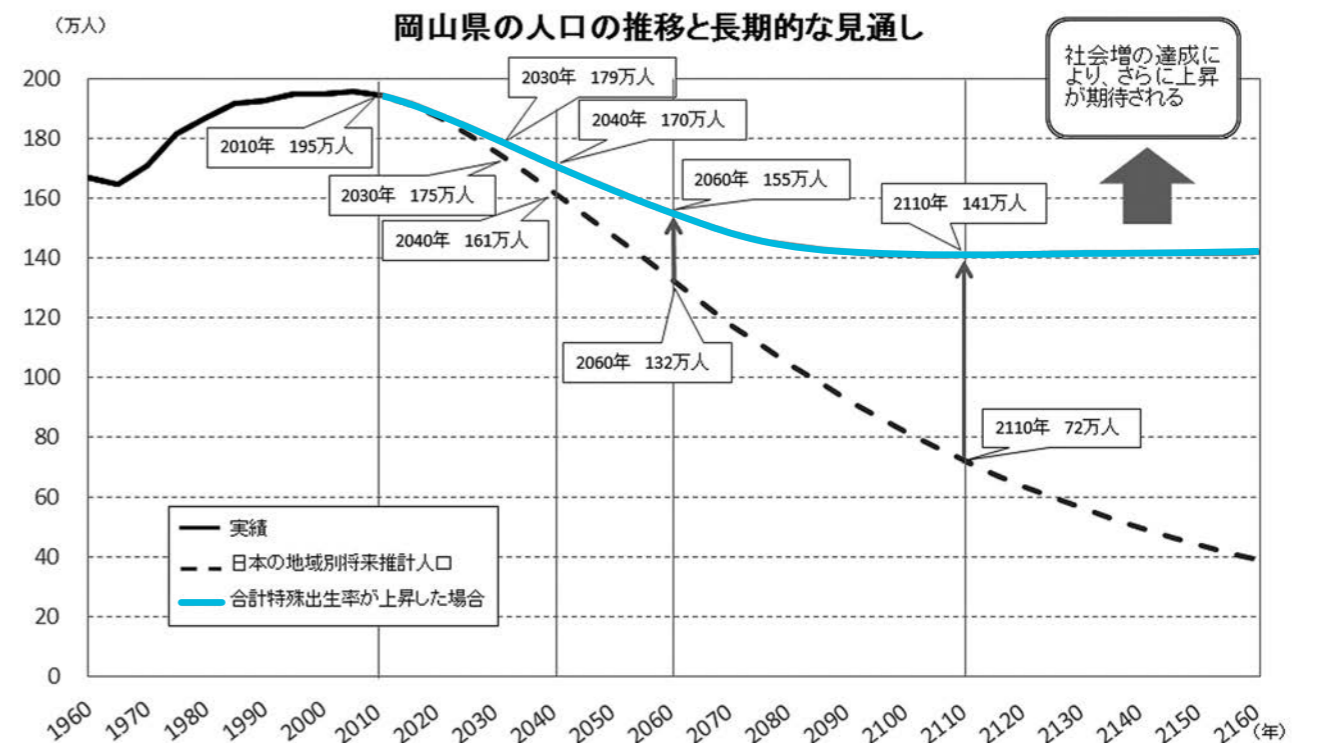
- ①子どもたちが前向きに伸び伸びと学んでいる地域
- ②犯罪や事故がなく健やかに暮らせる地域
- ③みんなが主役となる参画社会
- ④次代を担う若い世代が安心して子どもを
生み育てやすい地域
- ⑤豊かさを実感できる便利で活力のある地域
- ⑥県と市町村との連携を通じて発展し続ける地域

中四国の拠点として、グローバルに発展する岡山

- ①旺盛なチャレンジ精神と地域挙げての支援
- ②岡山の強みが活かされ、経済活動が
活発化している地域
- ③国内外に確立した「岡山ブランド」
- ④広域連携の推進
- ⑤人々が集う国内外の交流センター

【参考】「岡山県人口ビジョン」（人口の将来展望）

- 2060年に155万人程度が確保され、長期的には概ね140万人程度で安定的に推移する。
- 総人口に占める年少人口（0～14歳）の割合は、2010年の13.7%から、2060年には15.7%、2110年には17.4%となり、人口構造が徐々に若返っていく。
- 豊かな自然やこれまで培われた地域固有の伝統や文化を維持しながら、安心して住み続けられる多様で魅力ある岡山県を実現できる。



第1章 基本的な考え方

● 県政の基本目標

前向きに挑戦できる岡山、明日が楽しみになる岡山、すなわち、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」の実現を、県政の基本目標とし、その達成に向けて全力で取り組んでいきます。



● 基本目標の実現に向けて

(1) 自立と連携及び協働

「自立」した個性と魅力にあふれる豊かな地域づくりを目指します。また、市町村と緊密に連携して地域課題の解決を図るとともに、県民、NPO、企業、大学など、さまざまな主体と目標を共有し、その実現に向かって「協働」しながら、活力ある地域づくりに取り組みます。

(2) 県民の要請に応える行財政経営

これまでの行財政改革の成果を維持するとともに、引き続き「顧客重視」、「コスト意識」、「スピード感」の3つの視点を持って不断の改革・改善に取り組み、県民の要請に応える、効率的、効果的な行財政経営を行います。

● プランの性格等

県政において最上位に位置する総合的計画であり、県政推進の羅針盤として、将来の目指すべき岡山の姿を描く長期構想と、その実現に向けて、平成32年度（2020年度）までに重点的に取り組む行動計画という2つの性格を併せ持つものです。

長期構想

2030年頃を展望した目指すべき岡山の将来像について、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」の実現を目指すことを述べるとともに、県民局の区域ごとに地域の目指す姿を示します。

行動計画

長期構想の実現に向けて重点的に取り組む戦略や施策を盛り込んだ計画です。行動計画の計画期間は、平成29年度（2017年度）から平成32年度（2020年度）までの4年間としています。